

生きる

ヒット薬...痩せ薬...
賢くなる薬...



菊池市議会

8月24日、夏休み最終日に、菊池市議会
議場にて、子ども議会が開かれました。市内
5校の中学生が参加し、本校からも執行部の5
人が参加しました。



模擬議会の体験を通して、本市の子どもたちに議会や行政のしくみ
を理解してもらうとともに、まちづくりや未来の菊池市のことについて、提案を
通じて考えることを目的に、毎年開かれています。

今年度は北中が議長職の担当だったので、生涯会長の中村百穂さん
がその大役を担いました。堂々とした態度で議事を進めてくれました。
本校で提案したのは①空き屋の防災活用と災害時トイレ環境整備、
②白龍祭りに対する交通規制緩和と広報活動強化の2本でした。



提案してくれた佐々木さん、野満さん、越前さん、米村さんの4人も、13日有

稿と読むことなく、自分たちの伝えたいことを、堂々と発表してくれました。提案原稿を仕上げたために秋の時
間が必要でした。ふいふ、菊池市にしたい!そんな思いが強くあらわれていて、本当に頼もしいです。

生涯会執行部5人のみなさん、本当にご苦労様でした。貴重な経験にふたつと、今年度の生涯会の活
動にも生かせる姿でした。これからのさらなるリーダースとしての活躍を期待しています。

ヒット薬...痩せ薬...賢くなる薬...

夏休みが明けて一週間、しばらく「個」のリズムから「集団」のリズムに戻りつつあります。
ふいふ、早くも来週の期テスト...バの準備はできていますか?

さて元々野球選手や長嶋茂雄さんや読売ジャイアンツの監督時代、負けが続くチームの
状態に思いつき「ヒットの出る薬はないか!」と言ったというユニークなエピソードがあります。

ヒットの出る薬などあるわけないと言われていても、あつたら欲しいという切実な願いが読みとれます。

例えば受験生の親なら、「合格する薬」があつたらなあと思うかもしれません。「痩せる薬」は

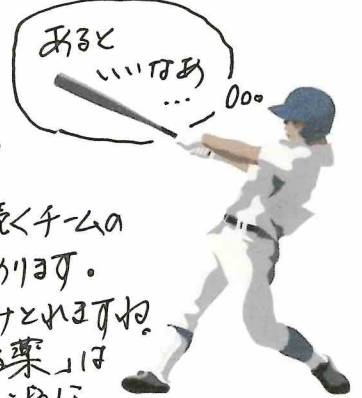
実際にあるようで...。はい、「合格する薬」も「痩せる薬」も、さほど違いはないのに

思っています。要するに、太る生活がその前におつたわけで、結局は自分自身の過去の生き方を問うことがあつて、

合格する薬...もしあつたら、実際に買うのはどうか? 買ったらそれは自分の負けを早急に認めてもらうと同

じではないかと考えます。それならやはり、コツコツと...。努力して得たものを自分のものとする。努力がもたらした結果も

自分のものとする。それは来週の期テストですね! "苦しい時間"を過ごして、ぐいぐいと伸びていく。私は思います。



学校施設の有効利用

～地域とつながる学校づくりのために～

今年度は、「開かれた学校」から「地域とつながる学校」を目指し、学校教育の推進をしています。その中で今年
は、北中の恵まれた校舎を地域の方に有効に利用して



いたぐための施設開放に取り組んでいます。さくく9月から菊池市民合唱団の皆様
が第2・4木曜日の13:30～15:30まで利用を申し込まれました。ただ音楽室を使っ
ただけだけでなく、子どもたちとの交流(合唱の指導や、校内イベントへの参加など)
の場面もつくる予定です。地域学校協働活動の一環として、今後も子ども
たちと地域をつなぐ北中としていきたいと思っています。